

世代別の乗車数向上策について

仙台市交通局

1 子供連れの乗車数向上策の検討

(1) 子供連れをターゲットとする目的

乗車人員の向上を図るためには、世代や券種ごとに効果的な施策を企画・実施する必要がある。その中でも、コロナ禍以前から自動車利用が大半を占めている子供連れの移動について、自動車等から公共交通への転換を図りたい。

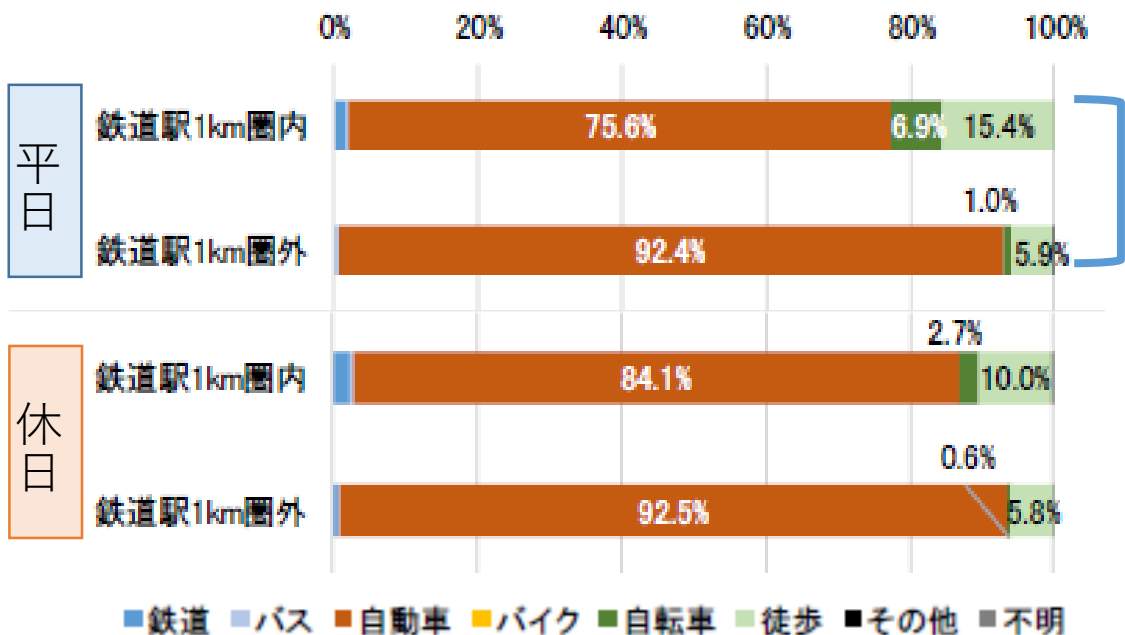
また、小児については、早い段階から公共交通を利用して親しんでいただくことで、将来にわたる市バス・地下鉄のご利用につながるものと考えられる。

そのため、まずは子育て世代が利用しやすい新たな施策を実施し、子供連れの利用を促進することで、足元の乗車人員の回復とともに将来的な顧客獲得を図りたい。

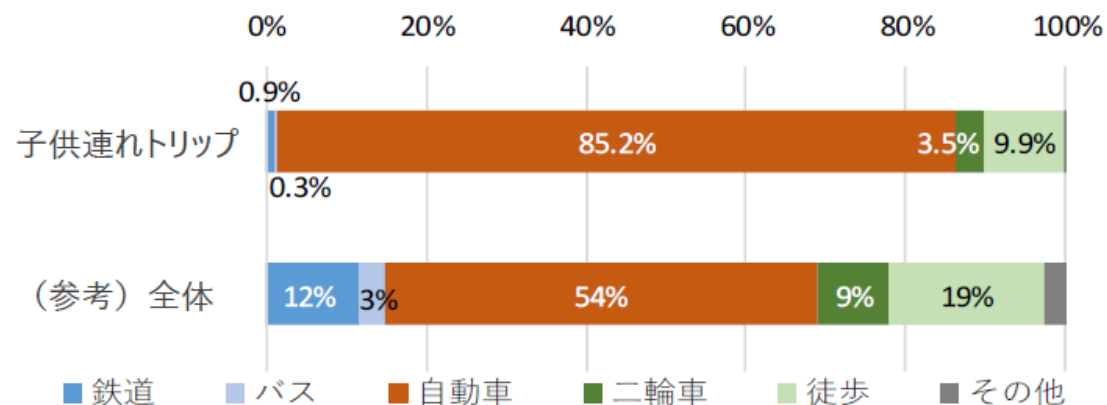
①パーソントリップ調査による子供連れ移動

- 仙台都市圏パーソントリップ調査による子供（18歳以下）連れトリップは以下のとおり（H29年時点のデータであるため、コロナを経た現在においては、さらに自動車利用の割合が増加していると見込まれる）。
- ⇒ 自動車から公共交通への転換の取り組みが必要である。

鉄道駅1km 圏内外別の子供連れトリップ代表交通手段分担率



代表交通手段分担率比較（平日）



資料: 各回の仙台都市圏パーソントリップ調査

注: 子供連れトリップとは、親と子供と一緒に移動すること

②子供連れの公共交通利用データ

- サンプルデータとしてIC利用履歴（定期等除く）から令和5年9月6日（水）及び9月10日（日）の小児（小学生）・子供連れデータを抽出し推計。

⇒市バス・地下鉄ともに小児利用数は休日の方が多くみられ、子供連れ利用割合も高まる。しかしながら、全体に占める割合は僅かである。

		ICSF利用総数 ※IC一件明細より	うち小児利用数	うち子供連れ 利用数(推計)	小児利用数 における子供連れ 利用割合	ICSF利用総数 における子供連れ 利用割合(推計)
9/6 (水)	市バス	46,095	280	42	15.0%	0.2%
	地下鉄	88,273	215	56	25.9%	0.1%
9/10 (日)	市バス	24,038	348	276	79.3%	2.3%
	地下鉄	65,628	873	438	50.0%	1.3%

※「子供連れ利用数」は、小児利用レコード付近の同一乗降駅・同一乗車時刻の大人利用レコードがあるものを集計。

※「ICSF利用総数における子供連れ利用割合」は小児利用レコード及び同伴と推測される大人利用レコードの割合。

• 小児のICSF利用数の多い乗降バス停・駅についても抽出。

⇒平日は主に通学と思われる利用が多く、休日については市バス・地下鉄ともに都心部での乗降が多くみられた。

		市 バ ス				地 下 鉄			
		乗車バス停	小児利用数	降車バス停	小児利用数	乗車駅	小児利用数	降車駅	小児利用数
9/6 (水)	附属小学校前	32	附属小学校前	36	仙台駅	29	仙台駅	27	
	二日町北四番	21	七郷小学校前	21	長町駅	19	北四番丁駅	16	
	仙台駅前	12	二日町北四番	21	北仙駅	17	長町南駅	15	
	藤田	9	仙台駅前	13	五橋駅	16	泉中央駅	14	
	藤田北裏	8	上愛子小学校	9	北四番丁駅	13	長町駅	14	
9/10 (日)	仙台駅前	62	仙台駅前	44	仙台駅	174	仙台駅	158	
	商工会議所前	17	県庁市役所前	23	勾当台公園駅	112	勾当台公園駅	146	
	県庁市役所前	11	商工会議所前	18	長町南駅	72	長町南駅	75	
	春日町	11	電力ビル前	12	泉中央駅	46	泉中央駅	52	
	二日町北四番	11	定禅寺通市役	10	長町駅	45	長町駅	42	

2 仙台市交通局における子供連れ利用促進取組みの状況

(1) 取組みの類型

①環境整備

- ・ベビーカースペース
- ・各種表示マークの周知、啓発
- ・パークアンドライド

- ・緑化フェア周遊パス
- ・環境定期券制度
(休日カルガモ家族)

②お得な運賃制度

- ・1ねんせいはじめてきっぷ
- ・夏休み親子探検ツアー
- ・各種タイアップによるクイズラリー、スタンプラリー
- ・オリジナルグッズの販売

③きっかけづくり

(2) 具体的な取組み

●ベビーカースペース

市バス・地下鉄車内において、車いす・ベビーカースペースを確保し、乗り方についてもHP等で案内。車内放送などにより、乗車する他の方にも配慮を促すなど、利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。



ベビーカー・車いすスペース

●各種表示マークの周知・啓発

バスや地下鉄は様々な事情を抱えた方も利用するため、バスや地下鉄で表示されている下記のマークを見かけたら席を譲るなど、思いやりをもった行動を促す取組みを実施（車内放送・HP・掲示物）。



●パークアンドライド

地下鉄駅周辺の駐車場、バス営業所に自家用車を駐車し、市バスまたは地下鉄に乗り換えて目的地へ移動することを推進する取組み。

※詳細は資料4別紙を参照



●緑化フェア周遊パス

全国都市緑化フェアが34年ぶりに仙台市で開催されることを記念し、各会場をお得に回ることでできる一日乗車券を仙台MaaSにて期間限定で販売（令和5年4月17日～6月18日）。大人1人につき、小児（1才～小学生）5人まで無料とし、家族単位での利用促進を図った。



●環境定期券制度（休日カルガモ家族）

土日休日に、市バスの定期券を持っている方が、同居する家族と定期券表示区間内を利用した場合、家族の運賃が大人100円・小児50円となる制度。

● 1ねんせい はじめてきっぷ

次代の利用者である子どもたちにバス・地下鉄の楽しさ・便利さを知ってもらい、公共交通機関の利用促進を図るため、初めて夏休みを迎える市内小学1年生に、バス・地下鉄が一日乗り放題となる無料乗車券を配付する取組み。



● 夏休み親子探検ツアー

夏休みの親子を対象に、川内営業所での市バスコースと荒井車両基地での地下鉄コースの2種類の探検ツアーを例年実施している。洗車機通過体験や保守用車の乗車体験、市バスのリフトアップ見学などのメニューを用意し、子供が市バス・地下鉄に親しみを持っていただき、乗客誘致の一助とすることを目的に実施。



●各種タイアップによるクイズラリー・スタンプラリー

映画・アニメ等の人気コンテンツとの連携・協力により、お客様にお楽しみいただける事業を実施することで、市バス・地下鉄のPR及びイメージアップを図り、利用促進につなげる。

●オリジナルグッズの販売

本局の交通事業のPR、また市バス・地下鉄に対する親近感の醸成を目的として、平成17年度からオリジナルグッズを製作・販売している。



3 他都市公営交通における子供連れ利用促進取組みの状況

(1) 取組みの類型

①環境整備

- ・ベビーカースペース
- ・パークアンドライド

- ・子育て応援スペース

- ・ToKoPo小学生会員対象
夏休みキャンペーン
- ・1DAYお子サマーパス
- ・小学生100円パス
- ・ファミリーペア券
- ・ファミちかきっぷ
- ・エコサマー
- ・エコファミリー
- ・運賃無料デー
- ・環境定期券制度

②お得な運賃制度

- ・各種タイアップによる
スタンプラリー

③きっかけづくり

(2) 具体の取組み

【東京都交通局】

●ToKoPo小学生会員対象 夏休みキャンペーン

令和5年度は8月1日～31日の間で、都営交通の会員制ポイントサービスToKoPoに会員登録している小学生が、キャンペーン期間中に都営交通を利用すると、一回の乗車につき、基本ポイントを通常2ポイントのところ50ポイント付与する取組み。

●「子育て応援スペース」導入

小さなお子様連れのお客様にも安心して気兼ねなく電車を利用していただけるよう、都営地下鉄全4路線で「子育て応援スペース」を設置。



※すべて画像はイメージ（左：車内装飾 上：車外ステッカー）
© Mercis bv

【名古屋市交通局】

● 1 DAY お子サマーパス 2023

円谷プロダクションとウルトラマンがテーマの展覧会「TSUBURAYA EXHIBITION 2023 ～“空想の力”円谷プロとウルトラマン～」とタイアップし、“ウルトラ”“お得な市バス・地下鉄が乗り放題の夏休み子ども一日乗車券「1 DAY お子サマーパス 2023」を、7月18日～8月31日から310円で発売。

● 夏休みウルトラスタンプラリー 2023

「1 DAY お子サマーパス 2023」の有効期間に合わせ、7月21日～8月31日まで、地下鉄5駅に設置されたスタンプ台を巡る「夏休みウルトラスタンプラリー 2023」を開催。スタンプを集めるとウルトラマンがデザインされたステッカー等をプレゼント。



スタンプラリー台紙 (左: 表面、右: 台紙面)

※すべて画像はイメージ
©TPC ©E.S.T.S ©UMPC ©KSW

【福岡市交通局】

●ファミリーペア券、ファミちかきっぷ

大人1人・小児1人のペアで1日乗り放題となる「ファミリーペア券」、大人2人まで・小児人数無制限で1日乗り放題となる「ファミちかきっぷ」といったお得な企画乗車券を発売しており、小児のみならずファミリー層を取り込む施策を実施。

●小学生100円パス

福岡市の中心である天神・博多へのお出かけに、公共交通を利用していただくことを目的とした取組みの一環として、気軽に地下鉄を使っていただくことで、これまでマイカー等で移動されていたファミリー層の公共交通（地下鉄）への転換を促すことを目的とした、「小学生100円パス」を令和5年7月22日より発売。



○小学生100円パス

対象	小児（小学生）
発売開始日	令和5年7月22日
発売期間 (利用可能期間)	土日・祝日、夏休み*、冬休み*、春休み* *福岡市立小学校の長期休業期間が対象
発売金額	100円
発売箇所	地下鉄窓口、お客様サービスセンター（定期券うりば）
有効区間	地下鉄全線（空港線、箱崎線、七隈線）

【京都市交通局】

●きょうとエコサマー

環境や公共交通について児童が家族と話し合うきっかけづくりの取組みとして、平成19年度から「バス・エコファミリー」を実施しており（令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）、令和5年度からは京都市の「ecoサマー」の取組みと統合し、7月22日～8月31日の間、京都市内を走るバス事業者等で運転士に「エコサマー」と申告すると、大人1人につき、小学生2人までの小児運賃が無料となる「きょうとエコサマー」の取組みを実施。

この夏、環境にやさしい公共交通を使い家族でお出かけしよう

きょうとエコサマー

対象のバスと京都丹後鉄道で
保護者1人につき
小学生2人までの
運賃が**無料**

対象のバス・鉄道や
利用方法の詳細は
裏面及びHPを
ご覧ください。

実施期間
令和5年
7月22日(土)～8月31日(木)
※阪急バス、ぐるっとわくバス、長岡京はっぴいバスは
7月21日(金)～8月31日(木)

利用方法

- 1 保護者と一緒に
対象のバスに乗ってね**
保護者1人に対して同伴の小学生2人までの
運賃が無料となります。保護者1人に対して
小学生が3人以上の場合、3人目からは小児
運賃をお支払いください。
- 2 バスを降りるときに、
「エコサマー」と言ってね**
運賃支払の際、乗務員に「エコサマー」と
お伝えのうえ、大人運賃のみお支払いください。
※ぐるっとわくバス、長岡京はっぴいバスは保護者の
同伴なしでも小学生の運賃が無料になります。
※京都丹後鉄道を利用の際は事前にホームページから
ダウンロードした専用チケットが必要です。

京都府・京都市交通局

対象のバス・鉄道

対象路線や利用方法等の詳細はこちらでご確認ください。
※一部対象外の路線があります。

京都府 HP 京都市交通局 HP

京都丹後鉄道の利用方法 ※専用チケットのダウンロードが必要です

- ①京都丹後鉄道ホームページから専用チケットをダウンロードし、印刷してください。
- ②乗車前後に改札口で「エコサマー」と申告して専用チケットを提示してください。
*チケットは乗車時に回収します。
*無人駅で乗降される場合は、運転士にチケットを提示してください。

専用チケットのダウンロードはこちらから
(京都府 HP から入っていただけます。)

問い合わせ先
京都府交通政策課 075-414-4359
京都市交通局企画調査課 075-863-5022
※バス・鉄道の運行情報、対象路線等については、各バス会社、
市町村にお問い合わせください。

参画自治体

- 京都市北
福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市
伊根町、与謝野町
豊岡市（兵庫県）、高浜町（福井県）
- 京都中部
亀岡市、南丹市、京丹波町
丹波篠山市（兵庫県）
- 京都市
宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市
京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町
宇治田原町、和束町、精華町

対象のバス・鉄道

- 京都市北
京都丹後鉄道（普通列車、快速列車）
丹後海陸交通、京都交通、西日本ジェイアールバス
京丹後市営バス、いねタク
与謝野町コミュニティバスひまわり、福知山市営バス
三岳バス、庵我バス、中六人部バス、あやバス
- 京都市内
京都市営バス、西日本ジェイアールバス
京都バス、京阪京都交通、近鉄バス
阪急バス、ヤサカバス、京阪バス
京都京阪バス
京北ふるさとバス、醍醐コミュニティバス
- 京都中部
西日本ジェイアールバス、京阪京都交通
京丹波町営バス
南丹市ぐるりんバス、南丹市営バス
亀岡市コミュニティバス、亀岡市ふるさとバス
- 京都府子育て応援バスポートサイト「まもっぴ」
親子でのお出かけ先探しにも活用いただける
京都府のアプリ・HPです。ぜひご利用ください。
*割引等のサービスの利用には会員登録（無料）が必要です。
- 京都南部
阪急バス、ヤサカバス、京阪バス
京都京阪バス、奈良交通（和東木津線のみ）
ぐるっとわくバス、長岡京はっぴいバス
コミュニティバスやわた、城陽さんさんバス、精華くるりんバス
木津川市コミュニティバス（きのつバス、かもバス当尾線のみ）

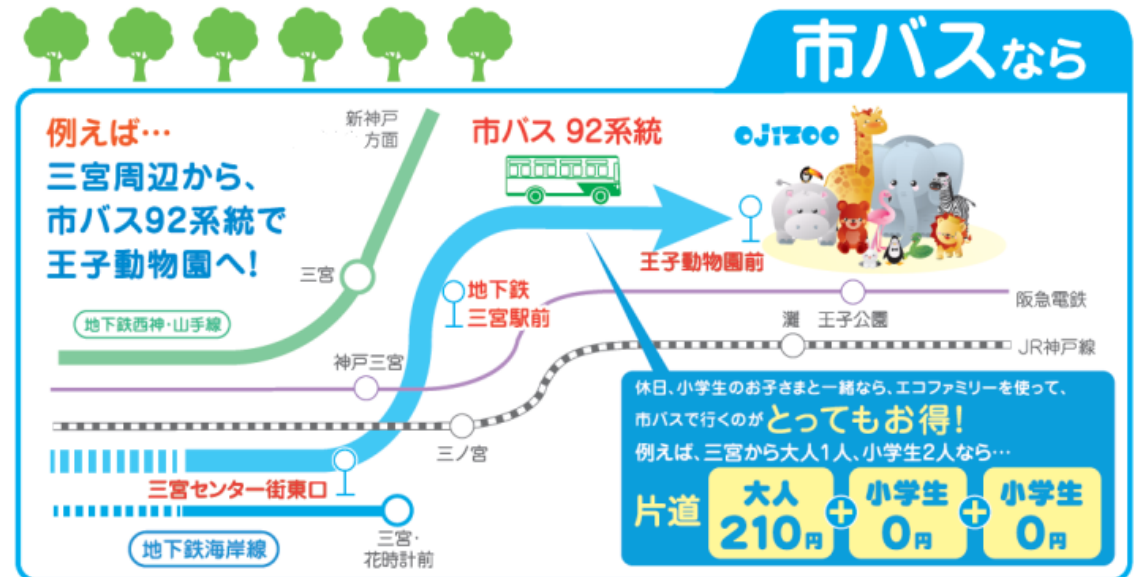
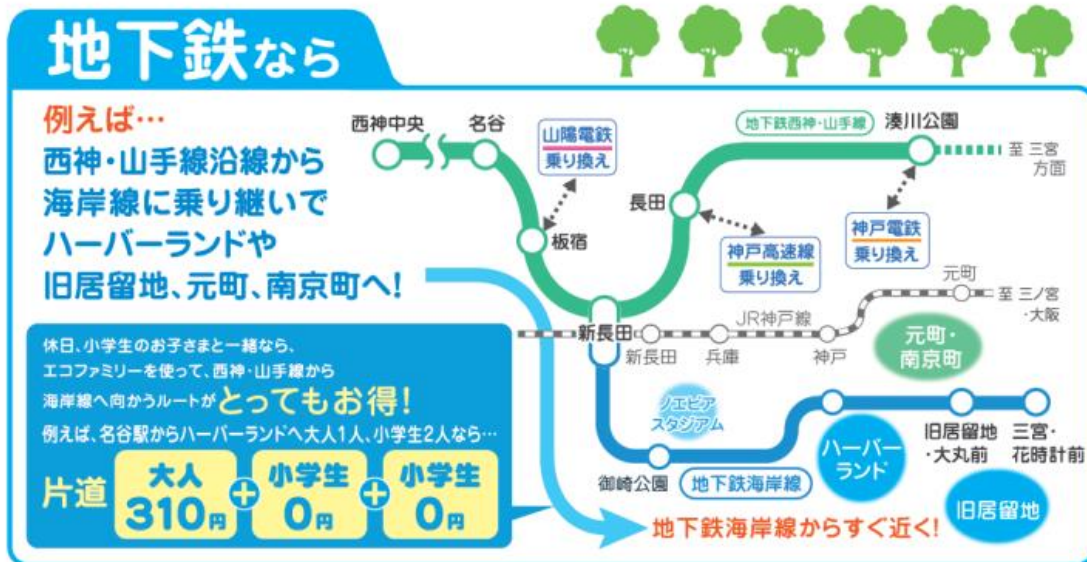
※HP、アプリのダウンロードはこちら

【神戸市交通局】

●エコファミリー制度

マイカー利用から公共交通利用への転換を促すことで環境負荷の低減を図ることを目的として、市バス・地下鉄全線で、土日祝・夏季期間(7月21日～8月31日)・冬季期間(12月25日～1月7日)に、乗車方法にかかわらず、大人1人につき小学生以下2人までを無料とする「エコファミリー制度」を実施。

平成15年10月から平成17年9月までの社会実験期間を経て、以降、本格実施を継続しており、令和2年度末時点で、延べ約1,705万人の方が利用。



他都市公営交通以外における取組み

【岡山市】

●路線バス・路面電車の運賃無料DAY

岡山市では、新型コロナウイルス感染症の拡大により公共交通利用者が大幅に減少した状態が続いているため、路線バス・路面電車の運賃無料DAYを実施し、公共交通利用を促進するとともに、買い物やレジャーなどの外出機会を創出し、経済の活性化を図る。

運行事業者：

【路線バス】宇野バス・岡電バス・下電バス・中鉄バス・中鉄北部バス・東備バス・八晃運輸・備北バス・両備バス

【路面電車】岡山電気軌道

※一部路線は対象外。



実施日(全5回)	主なイベント等
8/6日	スマホ決済最大20%還元キャンペーン【第5弾】/ 鳥城夏まつり/夏の鳥城灯遊囃・幻想庭園/ 岡山デザイン・ネーションキャンペーンアフターキャンペーン/ 西川夏あかり/オリエント美術館入館料無料DAY
9/3日	岡山芸術創造劇場ハレノワ開館事業100人ダンス/ 岡山デザイン・ネーションキャンペーンアフターキャンペーン/ オリエント美術館入館料無料DAY
10/8日	秋のおかやま桃太郎まつり
11/3日(金)	岡山城リニューアルオープン1周年記念イベント/ 備前岡山ええじゃないか大騒文払い トライフーズ岡山vs徳島(ジップアリーナ岡山)
11/5日	ウェルネスフェスティバルハレノワ/ フアジャー・岡山vs秋田(シティライツスタジアム)/ 岡山城リニューアルオープン1周年記念イベント/ 備前岡山ええじゃないか大騒文払い

実施内容

- 一部でも岡山市内を運行する路線バス・路面電車の全ての便を無料でご利用いただけます。
※ただし、岡山桃太郎空港から倉敷駅北口間の空港リムジンバス及び下電バス興除営業所前から倉敷駅・成人病センター間の路線バスは対象外です。
※また、おかでんチャギントン電車、高速バス、コミュニティバスは対象外です。
- 対象は岡山市民に限定しません。どなたでも利用できます。
- 何回でも無料で利用できます。

利用方法

- 【乗車時】整理券をお取りください。
- 【降車時】整理券を指定の回収場所に入れてください。
- ※宇野バス・下電バス・路面電車は、整理券を取らずにご乗車ください。
※ICカードや定期券は不要です。

運行事業者

- 【路線バス】宇野バス・岡電バス・下電バス・中鉄バス・中鉄北部バス・東備バス・八晃運輸・備北バス・両備バス
- 【路面電車】岡山電気軌道

お問い合わせ 岡山HP
岡山市 交通政策課 (086-803-1376)

【長崎市】

●バス・路面電車運賃無料デー

長崎市では、物価高騰等による市民の負担軽減を図るとともに、公共交通利用者の新たな需要の掘り起こしを図るため、バス・路面電車の運賃無料デーを実施。

運行事業者：

【路線バス】長崎バス・県営バス

【路面電車】長崎電気軌道・さいかい交通・富川運送

※一部路線は対象外。

長崎市内バス・路面電車
運賃無料デー

令和5年 **6/25** 日曜日

対象路線 長崎市域を通る路線バス・路面電車
※但し、右記は対象外：空運リムジンバス | 高速シャトルバス(藤原・大村線) | 佐世保線 | 雲仙線 | 県外高速バス

お問い合わせ(各交通事業者)
長崎バス：☎095-826-1112 / ☎095-848-5281 県営バス：☎095-826-6221
長崎電気軌道：095-845-4113 さいかい交通：0959-22-0013 富川運送：095-896-2021
無料デーの取組に関するお問い合わせ 長崎市 公共交通対策室：095-822-8888

長崎市内バス・路面電車
運賃無料デー

令和5年 **10/22** 日曜日

対象路線
長崎市域を通る路線バス・路面電車
※但し、右記は対象外：空運リムジンバス | 高速シャトルバス(藤原・大村線) | 佐世保線 | 雲仙線 | 県外高速バス

お問い合わせ(各交通事業者)
長崎バス：☎095-826-1112 / ☎095-848-5281
県営バス：☎095-826-6221 長崎電気軌道：095-845-4113
さいかい交通：0959-22-0013 富川運送：095-896-2021
無料デーの取組に関するお問い合わせ 長崎市 あじさいコール：095-822-8888

令和5年 **12/10** 日曜日

4 まとめ

- 子供連れの移動手段については、「自動車」が大半を占めているのが現状。

⇒ 「自動車」から「市バス・地下鉄」への転換を図りたい。

- 現在も仙台市交通局では様々な取組みを行っているが、他都市と比較すると運賃制度での取組みに課題があると考えられることから、更なる施策として運賃制度について検討してまいりたい。